

科目名	音楽Ⅱ	単位数	2単位
学科・学年・コース	農業 全学科 3年 選択	予定時数	70
学習目標			
音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
学 習 内 容			
【1学期】 1 正しい発声法・呼吸法を習得し歌声を磨く 2 芸術歌曲を歌う (1) ドイツ歌曲 (2) イタリア歌曲とカンツォーネ (3) 日本の唱歌 3 ポピュラー曲を歌う 4 楽典とソルフェージュ (1) 音符と休符 (2) 拍子と調号・臨時記号 (3) 強弱記号・速度記号・発想記号・反復記号 (4) 音名・音階・和音		【2学期】 1 アンサンブルの魅力① (1) 合唱曲やアカペラ曲を歌う (2) リズム・アンサンブル 2 劇音楽（ミュージカル・オペラなど）の鑑賞 3 西洋音楽史（バロック時代からロマン派）  【3学期】 1 アンサンブルの魅力② キーボードの練習とアンサンブル 2 日本の伝統音楽の歴史と鑑賞 3 世界の諸民族の音楽  各学期において、テスト・発表を行う	
教科書	MOUSA II（教育芸術社）		
副教材	なし		
学習評価			
1 思考力、判断力、表現力 ・様々な歌曲を学ぶことにより、表現の多彩さを感じることができる。 ・読譜力を高め、自分から演奏に積極的に取り組むことができる。 ・鑑賞により、作品の特徴や歴史的背景などを説明できる。 ・生活や社会における音楽の意義を感じ理解できる。 2 知識 ・楽譜を読む力（読譜力）をつけることにより、表現を工夫し深める。 ・発声の方法と楽器の奏法を理解する。 ・日本歌曲と世界の歌曲との比較、素晴らしさを理解する。 ・西洋音楽史をはじめとして様々な国の音楽の伝統や文化を理解する。 ・劇音楽（ミュージカルやオペラ）の素晴らしさを体現する。 3 技能 ・歌曲の発声法を習得する。 ・キーボードの奏法を習得し、アンサンブルの楽しさを学ぶ。 ・音楽の多様な形、表現方法を表現できる。			
備 考	個人やグループによる演奏発表のほか、意見や感想をレポートなどでまとめ、実技と筆記テストなど総合的に評価する。		

科目名	美術Ⅱ	単位数	2 単位
学年・学科・コース	農業 全学科 3年 選択	予定時数	7 0
学習目標			
美術の創造的な活動を通して、クリエイティブな感性を育むとともに、表現することを生涯の友人として扱えるような豊かな技術、表現力、感受性を養う。			
学 習 内 容			
【1 学期】 1 オリエンテーション 2 平面構成 3 名画のパロディ 4 しりとりパラパラ漫画アニメーション  ※すべての課題において、作品完成後お互いの作品を鑑賞し合う。		【2 学期】 1 ポップアップアート 2 ピクトグラム 3 石彫  【3 学期】 1 屏風制作 2 ステンシル版画	
教科書	美術Ⅱ（光村）		
副教材	なし		
学習評価			
1 思考力、判断力、表現力 ・用途や目的に合わせた技術や表現力 ・作品全体の工夫 ・個性や感性の生きた作品 2 関心、意欲 ・授業の準備、道具の片付け ・新しいことを意欲的に取り入れる積極性 ・作品制作中の集中力 3 知識、理解 ・技術、色彩、造形への理解 ・授業中得た知識とその応用力			
備 考	教材費として 2000 円		

科目名	書道Ⅱ	単位数	2 単位
学科・学年・コース	農業 3 学年 全コース 選択	予定時数	70
学習目標			
1. 書の創造的な諸活動をとおして、効果的に表現するための技能を身につける。 2. 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、表現する。 3. 書の表現の伝統と文化の意味や価値を考え、鑑賞できるようにする。 4. 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育む。			
学 習 内 容			
【1 学期】 1 仮名の学習 (1) 古典の臨書、鑑賞 (2) 自作の俳句を散らし書きに創作する (3) 篆刻、仮名用朱文印の制作  2 篆書の学習 (1) 古典の臨書、鑑賞 (2) 古代の文字を用いた創作  【2 学期】 3 隷書の学習 (1) 古典の臨書、鑑賞 (2) 木簡を用いた創作		4 草書の学習 (1) 古典の臨書、鑑賞 (2) 四文字熟語を用いた創作 文化祭に向けた作品制作  5 漢字一字書の創作 カレンダーを制作する  【3 学期】 6 漢字仮名交じりの書 和綴じ本の制作	
教科書	書道Ⅱ（東京書籍）		
副教材	なし		
学習評価			
1 思考力、判断力、表現力 ・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成の工夫ができる。 ・感興や意図に応じた個性的な表現ができる。 ・現代に生きる創造的な表現ができる。 2 知識 ・古代の文字や名筆の表現と用筆運筆の関わりとその良さについて理解する。 3 技能 ・変化や調和による構成の工夫ができる。 ・意図に応じた用具用材の活用ができる。			
備 考	課題に取り組む姿勢、提出、意見感想を書き記すワーク、実技の準備片付けまでの取り組みなどを含めて総合的に評価する。		

科目名	メディア表現（音楽）	単位数	2単位
学科・学年・コース	農業 全学科 3年 選択	予定時数	70
学習目標			
音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
学 習 内 容			
【1学期】 1 正しい発声法・呼吸法を習得し歌声を磨く 2 芸術歌曲を歌う （1）ドイツ歌曲 （2）イタリア歌曲とカンツォーネ （3）日本の唱歌 3 ポピュラー曲を歌う 4 楽典とソルフェージュ （1）音符と休符 （2）拍子と調号・臨時記号 （3）強弱記号・速度記号・発想記号・反復記号 （4）音名・音階・和音		【2学期】 1 アンサンブルの魅力① （1）合唱曲やアカペラ曲を歌う （2）リズム・アンサンブル 2 劇音楽（ミュージカル・オペラなど）の鑑賞 3 西洋音楽史（バロック時代からロマン派） 【3学期】 1 アンサンブルの魅力② キーボードの練習とアンサンブル 2 日本の伝統音楽の歴史と鑑賞 3 世界の諸民族の音楽 各学期において、テスト・発表を行う	
教科書	なし		
副教材	なし		
学習評価			
1 思考力、判断力、表現力 ・様々な歌曲を学ぶことにより、表現の多彩さを感じることができる。 ・読譜力を高め、自分から演奏に積極的に取り組むことができる。 ・鑑賞により、作品の特徴や歴史的背景などを説明できる。 ・生活や社会における音楽の意義を感じ理解できる。 2 知識 ・楽譜を読む力（読譜力）をつけることにより、表現を工夫し深める。 ・発声の方法と楽器の奏法を理解する。 ・日本歌曲と世界の歌曲との比較、素晴らしさを理解する。 ・西洋音楽史をはじめとして様々な国の音楽の伝統や文化を理解する。 ・劇音楽（ミュージカルやオペラ）の素晴らしさを体現する。 3 技能 ・歌曲の発声法を習得する。 ・キーボードの奏法を習得し、アンサンブルの楽しさを学ぶ。 ・音楽の多様な形、表現方法を表現できる。			
備 考	個人やグループによる演奏発表のほか、意見や感想をレポートなどでまとめ、実技と筆記テストなど総合的に評価する。		

科目名	メディア表現（美術）	単位数	2 単位
学年・学科・コース	農業 全学科 3 年 選択	予定時数	7 0
学習目標			
美術の創造的な活動を通して、クリエイティブな感性を育むとともに、表現することを生涯の友人として扱えるような豊かな技術、表現力、感受性を養う。			
学 習 内 容			
【1 学期】 1 オリエンテーション 2 平面構成 3 名画のパロディ 4 しりとりパラパラ漫画アニメーション  ※すべての課題において、作品完成後お互いの作品を鑑賞し合う。		【2 学期】 1 オリジナルキャラクターのフィギュア製作 2 ピクトグラム 3 ポップアップアート  【3 学期】 1 屏風制作 2 ステンシル版画	
教科書	美術Ⅱ（光村）		
副教材	なし		
学習評価			
1 思考力、判断力、表現力 ・用途や目的に合わせた技術や表現力 ・作品全体の工夫 ・個性や感性の生きた作品 2 関心、意欲 ・授業の準備、道具の片付け ・新しいことを意欲的に取り入れる積極性 ・作品制作中の集中力 3 知識、理解 ・技術、色彩、造形への理解 ・授業中得た知識とその応用力			
備 考	教材費として 2000 円		

科目名	メディア表現（書道）			単位数	2 単位
学科・学年・コース	農業	3 学年	全コース	選択	予定時数 70
学習目標					
1. 実用の書として、硬筆により、速く正しく美しく筆記する技能を身につける。					
2. 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、表現する。					
3. 書の表現の伝統と文化の意味や価値を考え、鑑賞できるようにする。					
4. 主体的に現代に生きる書の表現活動に取り組み、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。					
学 習 内 容					
【1 学期】			4 草書の学習		
1 仮名の学習			(3) 古典の臨書、鑑賞		
(4) 古典の臨書、鑑賞			(4) 四文字熟語を用いた創作		
(5) 自作の俳句を散らし書きに創作する			文化祭に向けた作品制作		
(6) 篆刻、仮名用朱文印の制作					
2 篆書の学習			5 漢字一字書の創作		
(3) 古典の臨書、鑑賞			カレンダーを制作する		
(4) 古代の文字を用いた創作					
【2 学期】			【3 学期】		
3 隷書の学習			6 漢字仮名交じりの書		
(3) 古典の臨書、鑑賞			和綴じ本の制作		
(4) 木簡を用いた創作					
教科書	なし				
副教材	なし				
学習評価					
1 思考力、判断力、表現力					
・ 目的や用途、表現形式に応じた全体の構成の工夫ができる。					
・ 感興や意図に応じた個性的な表現ができる。					
・ 現代に生きる創造的な表現ができる。					
2 知識					
・ 古代の文字や名筆の表現と用筆運筆の関わりとその良さについて理解する。					
3 技能					
・ 実用文書における書写技能を高める。					
・ 変化や調和による構成の工夫ができる。					
・ 意図に応じた用具用材の活用ができる。					
備 考	課題に取り組む姿勢、提出、意見感想を書き記すワーク、実技の準備片付けまでの取り組みなどを含めて総合的に評価する。				